



京都切り絵歳時記

月刊

あじえんだ 1月

みやこ
京のアジェンダ21フォーラム 事務局通信
月刊あじえんだは当フォーラムの活動紹介を中心とした
京都発、環境関係の情報発信紙です

2006年



事務所 〒612-0031 京都市伏見区深草池ノ内町13
京エコロジーセンター2F 活動支援室内
TEL: 075-647-3535 FAX: 075-647-3536
E-mail: ma21f@mbx.kyoto-inet.or.jp

事務局 〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る
京都市環境局地球温暖化対策課内
TEL: 075-222-4037 FAX: 075-222-4039

KES認証事業部 〒615-0801 京都市右京区西京極豆田町2
京都工業会館2F TEL/FAX: 075-323-6686
E-mail: kesma21f@mbx.kyoto-inet.or.jp
<ホームページ> http://web.kyoto-inet.or.jp/org/ma21f/

謹賀新年 今年もともに「パートナーシップで取り組む環境まらづくり」と進めていきましょう

シンポジウム「愛を感じる旅をしよう ～京都におけるエコツーリズム～」 2月12日（日）開催

環境問題に取り組むホテルなどの観光事業者、市民団体が事例発表・意見交換を行います。2005年4月に施行した「京都市地球温暖化対策条例」において観光旅行者その他滞在者の責務が規定されるとともに、現在京都市が策定に向けて作業中の「新京都市観光振興推進計画」の中で「環境を機軸にした京都観光」が取り上げられるなど、環境と調和した京都観光が目立っています。フォーラムでもこれまでエコツーリズムの取組促進を行ってききましたが、この機会に、あらためて共に考えて行動していきたいと考えています。ぜひ、ご参加ください。

●平成17年度 第3回環境活動交流会

「愛を感じる旅をしよう ～京都におけるエコツーリズム～」
(主催 京エコロジーセンター、協力 京のアジェンダ21フォーラム・エコツーリズムWG)

●日時 2005年2月12日（日）午後 1時30分～3時30分
●会場 京都市女性総合センターウィングス京都 セミナーB
地下鉄烏丸御池駅（5番出口）TEL 075-212-7490

または地下鉄四条駅・阪急烏丸駅（20番出口）下車徒歩約5分

●内容

*基調講演（午後1時30分～午後2時）
「未来につながる京都観光」～持続可能な京都観光を目指して～
講演 宗田好史氏（京都府立大学 人間環境学部助教授）
*パネルディスカッション（午後2時～午後3時30分）
パネラー（予定）：○十倉真未子氏（エコツーリズムWG）○宮脇 健氏（株）京都ホテル ○下村委津子氏（京都グリーン購入ネットワーク）○コーディネーター 高田光治氏（財）京都ユースホステル協会）

●対象 一般（中学生以上） ●定員 100名（先着順）

●申込・問合先 京エコロジーセンター

TEL(075)641-0911 FAX(075)641-0912

2月10日（金）までに氏名、連絡先（TEL、FAX、メールなど）を電話またはFAXでお知らせください。

中小企業向け 環境マネジメントシステム（KES）推進セミナー 好評開催中

京都商工会議所、(社)京都工業会、京都府、京都市主催（共催：京のアジェンダ21フォーラム等）「地球温暖化対策のための中小企業 環境マネジメント推進事業」の一環として、中小企業向けの環境マネジメントシステム認証取得推進セミナーが開催されています。8月以降、京都府内6か所で行われたセミナーにはのべ300人以上が参加し、企業の関心の高さがうかがえました。

地球温暖化などの環境問題の解決のため、企業や行政が取引先に対し、環境マネジメントシステムの認証取得を推進するようになってきています。京都市でも、来年度から工事契約の入札の際、KESやISO 14001を認証取得している企業は加点されるようになります。

各セミナーでは、すでにKESを認証取得した企業からの事例

報告があり、参加した企業からは「同業種の話はとても参考になる」という声が聞かれています。

フォーラムとしても、ぜひ多くの企業の皆さんに、あらゆる業種・規模で取り組めるKESを知っていただくきっかけとして、セミナーへの参加を呼びかけています。

●京都市内で開催されるセミナー

3月末までにあと2回開催予定。次回は2月21日に実施します。
問合せ先：京都市環境局地球温暖化対策課 TEL 075-222-3452

●京都府下（京都市域をのぞく）で開催されるセミナー

3月末までにあと2回開催予定。時期は未定。
問合せ先：京都府企画環境部自然・環境保全室 TEL 075-414-4715

京都環境フェスティバル2005に出展しました 12月10日（土）、11日（日）

“京のアジェンダ21がめざすエコシティー（持続型都市）「京都」”のパネル展示、トークセッションに参加

フォーラムでは、昨年に引き続き京都府等主催の「京都環境フェスティバル2005」に参加しました。

活動紹介ブースではパネル展示の他、リユース容器※のコップを使って、ハーブティーを来場者に提供しました。ブースに来られた方は、パネルやパンフレットを熱心に見たり、ハーブティー片手に環境談義を繰り広げる方もおられました。

今回は、初めてフォーラムの活動に参加するという方を含む9名が、ボランティアで出展準備や接客、片付けをしてくださいました。参加下さった方からは「楽しかったです。また声をかけてください」「ふだん自分が活動しているWG以外のフォーラムの活動を知ることができて良かった」という声が聞かれました。

またトークセッション「Road to 2050～脱・温暖化を目指す若者達～」には、フォーラムから事務局チーフコーディネーター

の滋野が参加しました。滋野を含む4人のパネリストが、それぞれの活動の内容や取り組むようになった経緯を紹介しながら、「2050年の社会」のイメージを語り合いました。滋野からは、『環境』は京都ブランドの一つになりうる。京都の生活文化、建築、工業、食と農林業などあらゆるものの中に『当たり前』に環境の要素や考え方が入れば、それは京都の『文化』になり『ブランド』として認知されるだろう。2050年にはそうならいい」と来聴者に語りかけました。

このイベントをきっかけに、フォーラムの活動に参加して下さる方が増えることを願っています。ボランティアで来てくださった皆さん、ご来場くださった皆さん、ありがとうございました。
※リユース容器：フォーラムがお祭りやイベントでの使用を普及促進している、使い捨てでない何度でも洗って使える容器。

Agenda Forum

1月の
ミーティングと
主催行事の予定

1月10日（火）10:00～12:00 第7回戦略検討委員会（ひと・まち交流館 京都3階第3会議室）
1月11日（水）18:30～20:30 エコミュージアムWG会議（洛西境谷会館第2会議室）
1月13日（金）10:00～12:00 エコツーリズムWG会議（場所未定）
15:00～17:00 企業活動WG会議（朝日ビル9階会議室）
*フォーラム事務局は12月26日（月）から1月5日（木）まで閉所となります。

第5回、第6回 戦略検討委員会

第5回会議（11月29日・火）では、「これからのフォーラムのイメージについて」をテーマに、これまでの議論から導き出される、フォーラムのあるべき将来像について議論を深めました。「フォーラムの重要だと思われる

役割が、外から見て分かるような組織編成が必要」、「法人化も考えて良いのではないか」、「事務所はもっと一般市民が行きやすい場所にしたい方が良い」といった意見が出されました。

第6回会議（12月20日・火）では、「コーディネータ提案と中間報告案について」をテーマに、第5回会議での議論を受けてのフォーラムのあるべき組織編成、役割に関するコーディネータ提案をもとに、議論を行いました。「フォーラムの体力、財力に見合った組織編成が必要」「活動を評価する場が必要」

報告・今後の予定

といった意見が出されました。
次回の幹事会で、この中間報告が行われる予定です。

●第7回会議

日時：2006年1月10日（火）

10:00～12:00

場所：ひと・まち交流館 京都
3階第3会議室

内容：

・これからのフォーラムのミッション（社会的使命）と組織のあり方



「伏見エコ宝さがし講座」を行いました 10月21日（金）

10月21日（金）に「伏見エコ宝さがし講座（主催：エコツアーリズムワーキンググループ、京エコロジーセンター）」を行いました。当日はスタッフを入れて15名が参加し、楽しくまち歩きをした後、エコツアー※コースづくりをしました。

豊かな水文化と自然に恵まれた伏見のまちを、まち歩き専門家・永橋為介さん（（特活）コミュニティー・デザイン・センター副代表）と、京都の歴史の専門家・中村武生さん（佛敎大学非常勤講師）と一緒に歩くと、新たな伏見の魅力がたくさん発見されました。まち歩き終了後はエコツアーマップを作り、発見したまちの魅力を皆で話し合いました。

参加者からは、「お店の人など地元の人と触れ合えたのが楽しかった」「変哲のない石碑が一つ一つ個性をもったものになった」「ぜひ次回も実施してほしい」といった感想が寄せられ、エコツアーの楽しさを味わっていただけたのではないかと思います。

今後も試験的にこのような行事を積み重ねながら、将来的には、エコツアーの案内人となる人たちの養成、京都でのエコツアーの普及活動に取り組んでいきます。

なお、京エコロジーセンターで1月14日から開催されるエコツアーリズムの企画展では、今回作成したエコツアーマップが展示される予定です。

※エコツアー：大型バスで有名な観光地を回るのはなく、ゆっくり歩いて地域と触れ合う旅。

宇多野ユースホステルの従業員に「出前セミナー」を行いました 11月9日（水）

11月9日（水）に宇多野ユースホステルにて、第1回目となる従業員向け「出前セミナー」を行いました。

昨年度エコツアーリズムWGでは、旅館・ホテルの環境問題への取組をサポートするために従業員向けレクチャーやワークショップを行う「出前セミナー」を考案しました。宇多野ユースホステル（以下YH）ではKES認証取得に向けて取り組んでいられる予定であるため、その一環としてセミナーを実施することとなり、ワーキンググループのメンバーが講師として、YHに出向きました。もともと同YHでは、生ごみの堆肥化、グリーン購入といった環境対策に熱心に取り組んでおられることもあり、従業員など12名の方々が、熱心に耳を傾けてくださいました。

セミナーでは、京都の観光の現状や、宿泊客が要らなくなった古着を置いていって、ほしい人がもらっていくというシステムといったユニークな取組など宿泊施設の環境問題への取組事例につ

いて、ビデオやパワーポイントを使って説明しました。その後の、どうすれば同YHで環境取組をより進めていけるかについての意見交換では、「定員が170人近いので、満室の時には個々の宿泊客への呼びかけが難しい」「食事を食べずに捨ててしまうお客さんがいるので、捨てずにすむ方法を考えたい」といった意見が出されました。YHの所長でWGメンバーの高田さんからは、「セミナーには就職して1～2年目の従業員が多く参加した。各施設の事例を知り、規模は違っても工夫やヒントを得ることができ、刺激になったと思う」という感想をいただきました。

今後、ほかの旅館・ホテルでも出前セミナーを開き、環境問題の取組を応援していきたいと考えています。

*出前セミナーについてのお問合せは、フォーラム事務局までお願いします。

< KES 認証事業部より > ★ 11 月の新規認証取得 2005 年 12 月 1 日現在

※確認審査合格企業の詳細については、ホームページ (<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/kesma21f/index.htm>) をご参照ください。

●ステップ1

KES1-0358 日新建工株式会社（京都市左京区）
KES1-0359 フェニックス電子株式会社 本社（京都市中京区）
東京営業部（東京都中央区）
KES1-0360 株式会社山陰土建 殖生工場（京都府船井郡）
KES1-0361 伏見クリエイティブ株式会社（京都市伏見区）
KES1-0362 洛陽技研株式会社（京都府久世郡）
KES1-0363 株式会社デザオ建設 本社（京都市山科区）
北野展示場・西大路展示場・北山展示場・桃山展示場
KES1-0364 株式会社小林製作所（大阪府堺市）
KES1-0365 井木商事株式会社（京都府舞鶴市）
KES1-0366 旭ゴム株式会社 本社（大阪市西区）
土浦工場（茨城県土浦市）

●ステップ2

KES2-0174 株式会社加藤造園（京都市右京区）
KES2-0175 オムロンテクノカルト株式会社（横浜市西区）

KES2-0176 株式会社小野田製作所（京都市右京区）
KES2-0177 タッド株式会社 第一工場・第二工場
第二分工場（熊本県阿蘇郡）
KES2-0178 株式会社神村製作所（京都府宇治市）
KES2-0179 巧美堂印刷株式会社 本社（京都市右京区）
宇治田原工場（京都府綴喜郡）
KES2-0180 株式会社アドヴァンス（熊本県上益城郡）
KES2-0181 第一精工株式会社（福岡県小郡市）
福岡事業所小郡工場（福岡県小郡市）
太刀洗工場（福岡県朝倉郡）
KES2-0182 株式会社ノボル電機製作所 本社（大阪府交野市）
東京営業所・大阪営業所・福岡営業所
仙台出張所・名古屋出張所
KES2-0183 株式会社壬生電機製作所（京都市南区）
KES2-0184 有限会社日双工業（京都府宇治市）

事務局短信 和歌山の造り酒屋の見学に行ってきました。築90年の風雪に耐えた酒蔵で醸された地酒は最高。酒の味は、その土地の恵みや風土そのもののようです。（滋野浩毅）／今年も山で年越しです。山にいと大晦日、元旦という区切りが曖昧になるのでちょっぴり淋しいです。滞在中、一番きれいな日の出を「初日の出」と位置づけて自分を納得させています。（竹村光世）／職場近くの公園では、沢山の落ち葉がいつもごみとして処分されてしまっています。日本で売られている肥料は中国の森林を焼き払って作ったものが多いとのこと。自然の贈り物・国内の落ち葉を、もっと有効活用したいものです。（小山直美）